

# 光栄の森

平成23年9月 毎月1日発行 第39号

発行者 榊光栄プロテック 木之下

## 9月にむかって

平成23年8月吉日

代表取締役 三田雅憲

先般、ニュース番組の冒頭に、若人で人気司会者の島田紳助さんが、突然の引退会見をしていました。理由は、暴力団関係者との交際が原因であるようなことを話していました。

「日頃若手に対して礼儀や礼節に関して非常に厳しく教育している自分が、このようなことでは示しがつかない、一番つらいことを自分に課すと引退である。」という論調でありました。

トップを走っている人間が突然このような事になり関係各部署は大変な混乱になっていると察します。同時に、細かい事柄や甘い事柄をしっかりと見極めていかねば、いつ何時でも落とし穴にはまってしまう可能性があるのだという事を改めて思い知らされました。

島田紳助さん本人も会見で述べていましたが、『山は頂上まで登って終わりではない。無事に下山してこそ、初めて登頂できたといえる。だから降りるときに細心の注意を払わなければならない』と…。人生でたとえるならば55歳ごろが山の頂上でそこから少しずつ下山していかねばならない。そのときに世の中に対して感謝の念や世話になった人への心配り、若い人への技術の継承や指導をやっているのか、回りに迷惑をかけることをしていないかのチェック、年齢相応の人格かどうか、などなど、自分自身も10年後、55歳になったときにそのような境地に行き着いているか？十分反省しそのように振舞えるように心しなければと改めて感じました。

今年も大変残暑が厳しい中、日々社員みんながクーラーもない工場で毎日がんばってくれていることに感謝すると同時に、世の中の円高や株価の下落、日本国債やにほん金融機関の格下げ、原発事故による放射能の問題、東日本大震災の進まない復興、政局の不安定、米中の経済の低迷予測など景気の後ろ向きなことがらが続きうんざりする気持ちが交錯した夏であった気がします。迷ったときは、前に進めという人がいます。自分たちが前に進んでいるかどうかはわかりませんが一日一日を大切に悔いのないように謙虚に努力を重ねることが重要であると感じております。

今月は取りとめのない話で終止しましたが、9月は上半期最後の月です。みんなで前半の締めをしっかりとし、よい結果がだせるよう力を合わせてがんばりましょう。

